
景 気 動 向 調 査 結 果

— 平成27年第IV四半期（10月～12月期）分 —

平成28年2月

高山市商工観光部商工課

調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、
郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 平成28年 1月中旬
- 4 回収状況 配布数 500社
有効回収数 177社 (有効回収率 35.4%)

※ 業種別回収状況

建設・土木業	28社	(33.3%)
製造業	33社	(35.5%)
卸売・小売業	37社	(36.3%)
飲食業	24社	(30.4%)
旅館業	33社	(41.8%)
その他	22社	(34.9%)

計 177社 (35.4%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

【参 考】

DI (Diffusion Index) 値

DIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。
「上昇（増加など）の割合 － 下降（減少など）の割合」

・はじめに

平成28年1月に実施しました、景気動向調査（平成27年10月～12月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

・概況

・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は19.0となり、前回（8.0）より11.0ポイント増加した。

前期比のDI値は8.7で、前回（5.6）より3.1ポイント増加した。

・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は▲5.2となり、前回（▲3.1）より2.1ポイント減少した。

また、来期見込のDI値については、今期より19.0ポイント減少し、▲24.2となっている。

・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は8.6%で、前回（7.4%）より1.2ポイント増加し、「不足」と回答した事業所の割合は29.3%で、前回（29.0%）より0.3ポイント増加した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は13.2%で、今期の雇用状況と比較して4.6ポイント増加している。「不足」と回答した事業所の割合は25.9%で、今期の雇用状況と比較して3.4ポイント減少している。

有効求人倍率については、12月期で1.32となっており、前回調査9月期（1.56）と比較すると0.24ポイント減少している。

・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は24.3%で、前回（22.1%）より2.2ポイント増加した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が32.7%で、今期の設備投資実績より増加傾向にあり、前回調査（32.7%）と同じ割合であった。

1. 販売（売上）の状況

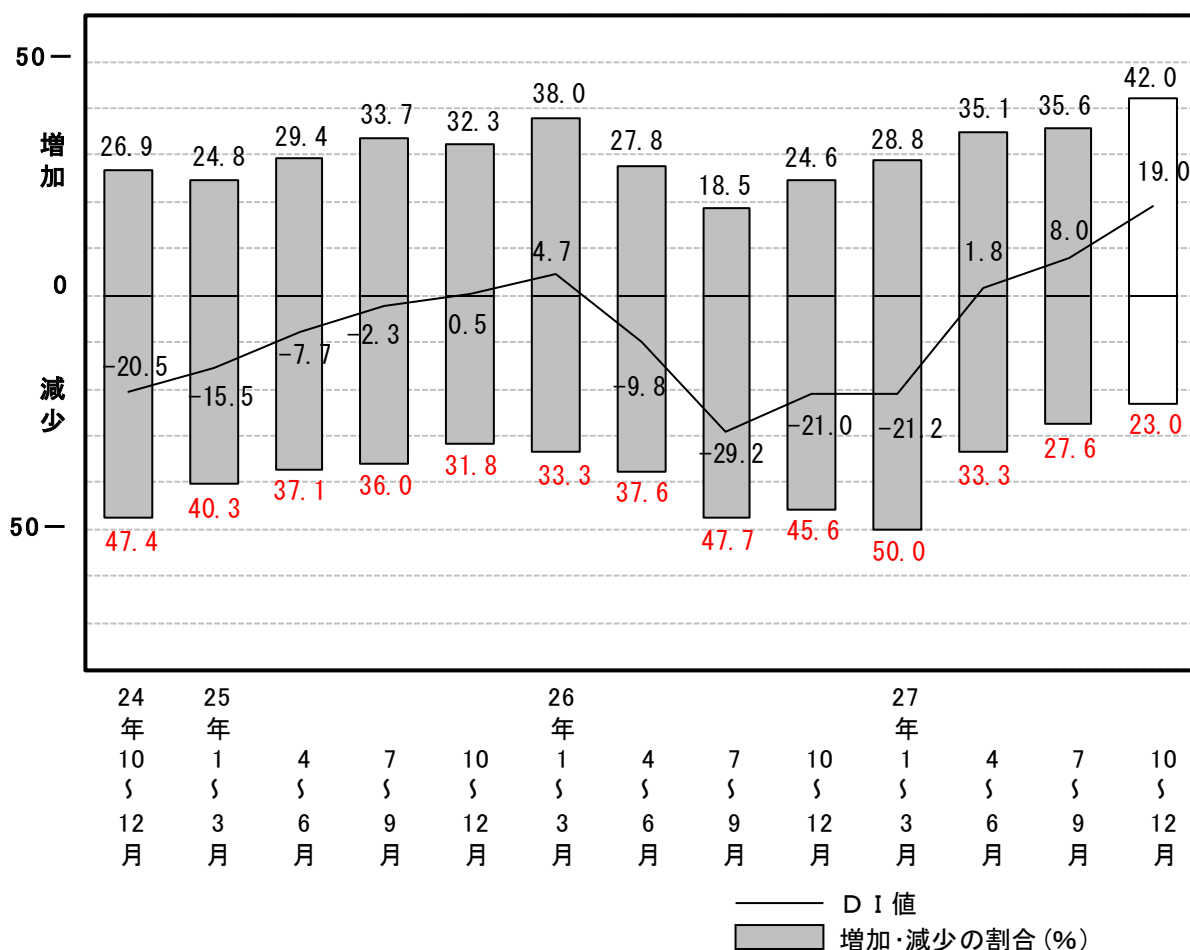
販売高D I 値は前年同期比、前期比ともに増加

1-1 前年同期比

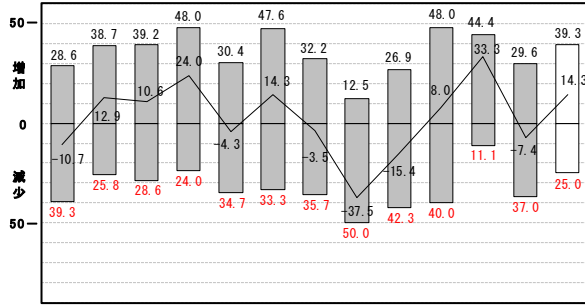
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は42.0%で前回(35.6%)より6.4ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は23.0%で前回(27.6%)より4.6ポイント減少した。その結果、今期の販売高D I 値は19.0となり前回(8.0)より11.0ポイント増加している。(第1図 参照)

業種別のD I 値を分析すると、「卸売・小売業」「飲食業」以外の業種においては前回調査よりも増加している。中でも、「建設・土木業」「製造業」においては前回調査から大幅に増加しプラスに転じている。(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



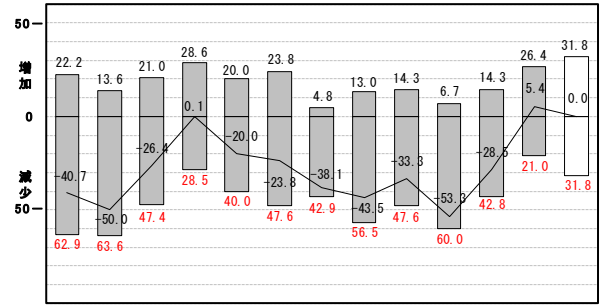
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

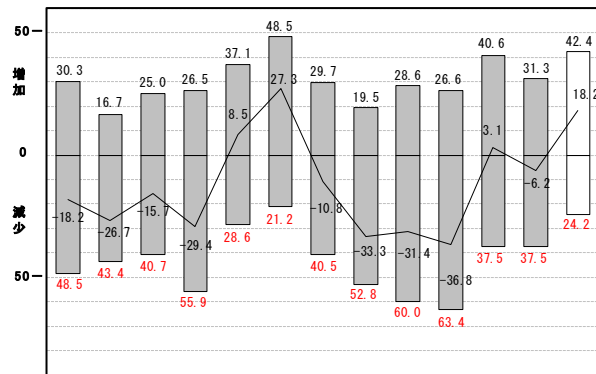
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

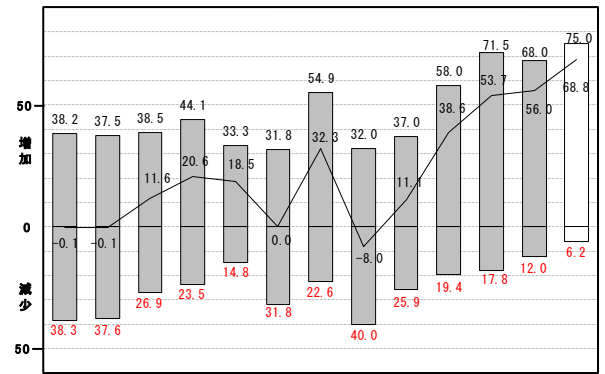
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

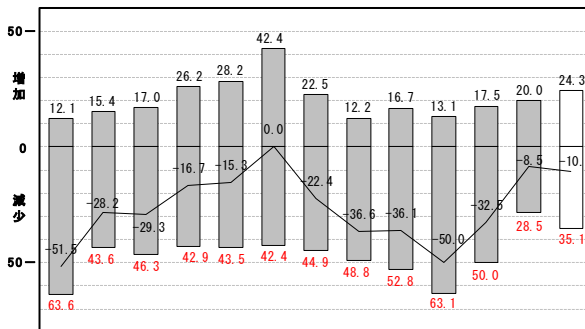
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

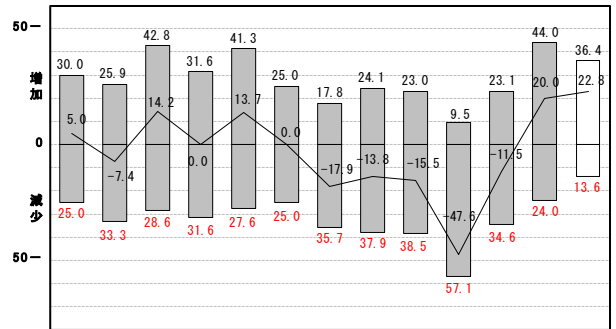
参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



24年	25年	26年	27年
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月
1月	10月	10月	10月
2月	1月	1月	1月
3月	4月	4月	4月
4月	7月	7月	7月
5月	10月	10月	10月
6月	1月	1月	1月
7月	4月	4月	4月
8月	7月	7月	7月
9月	10月	10月	10月
10月	1月	1月	1月
11月	4月	4月	4月
12月	7月	7月	7月

D I 値
増加・減少の割合 (%)

1-2 前期比

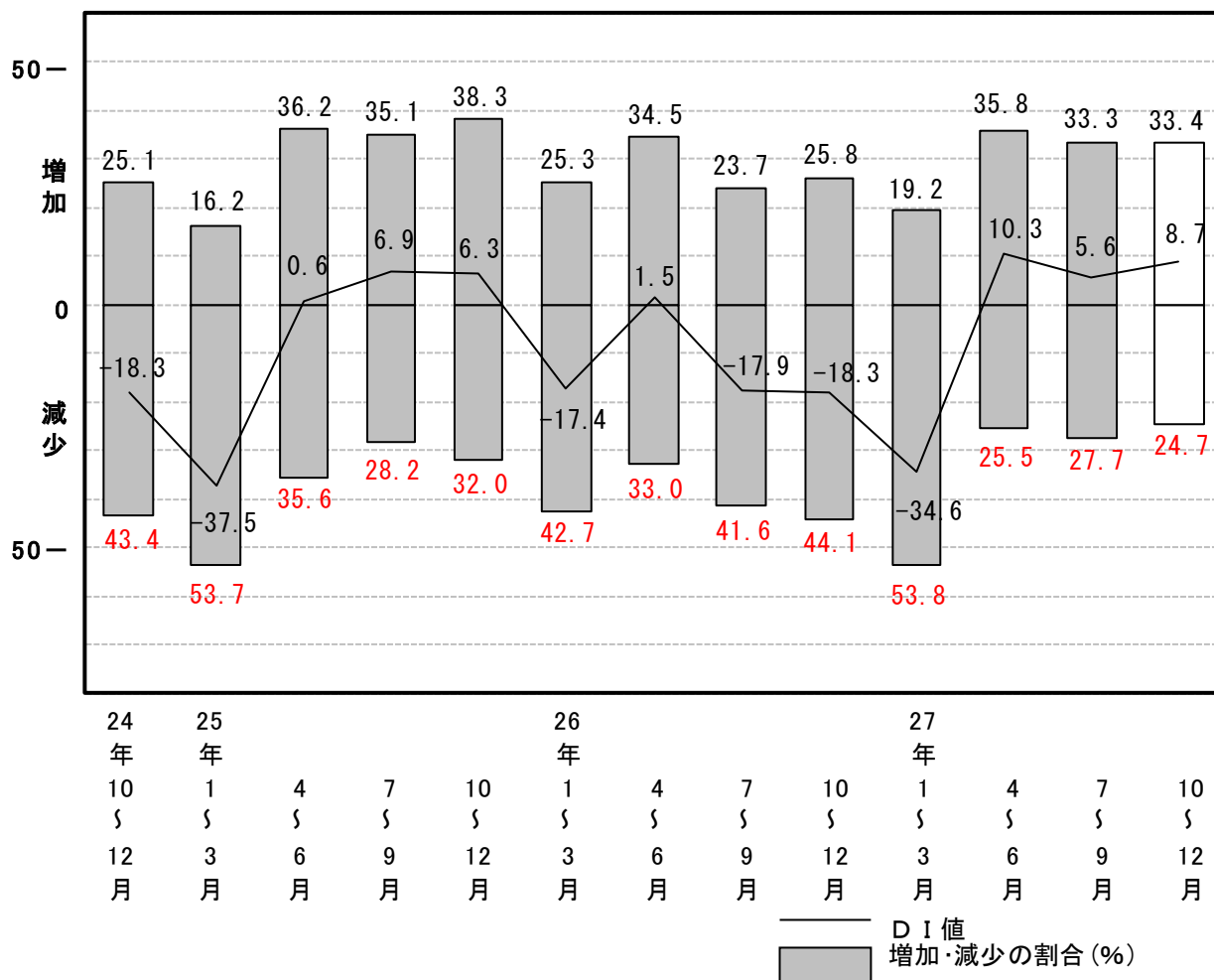
販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は33.4%で前回(33.3%)より0.1ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は24.7%で前回(27.7%)より3.0ポイント減少した。その結果、今期のD I値は8.7となり、前回(5.6)より3.1ポイント増加した。(第2図 参照)

業種別のD I値を分析すると、「製造業」「卸売・小売業」「その他」においては前回調査より増加しており、「製造業」「卸売・小売業」においてはD I値が大幅に増加し、プラスに転じている。

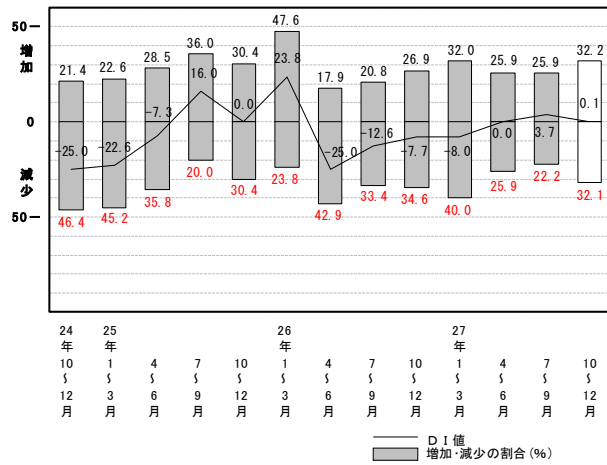
一方、「建設・土木業」「飲食業」「旅館業」においては前回調査よりも減少しており、特に「旅館業」においては大幅に減少しマイナスに転じているが、季節的要素が強いと思われ、概ね例年通りの傾向となっているが、過去3年の同時期と比較すると、D I値はプラスのままとなっている。

(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

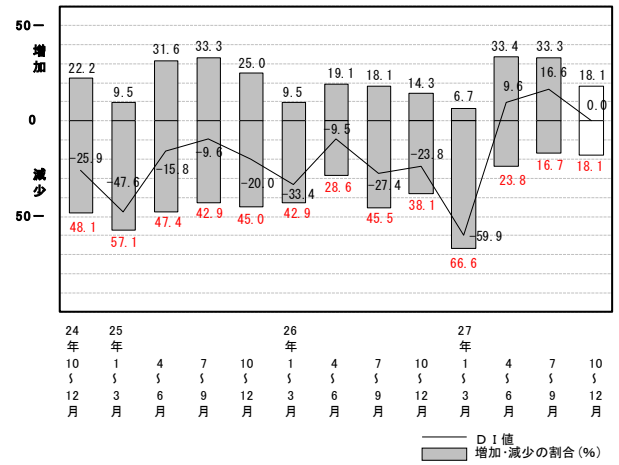
第2図 販売高D I値の推移(前期比)



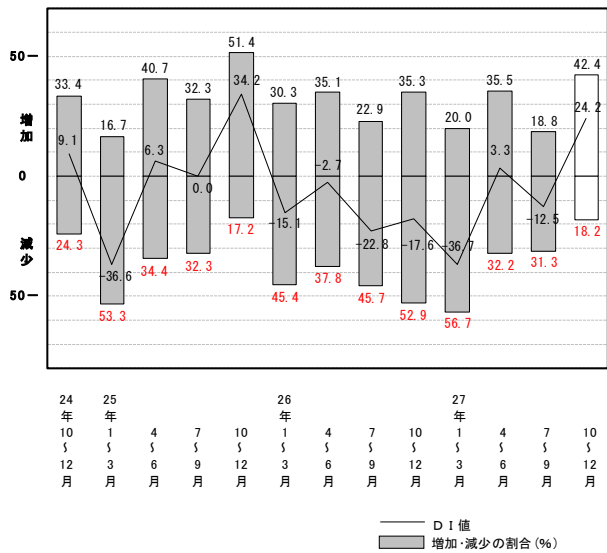
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前期比）



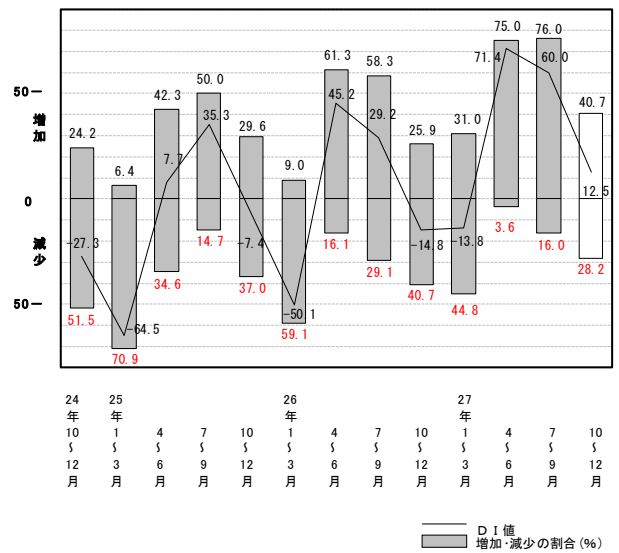
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前期比）



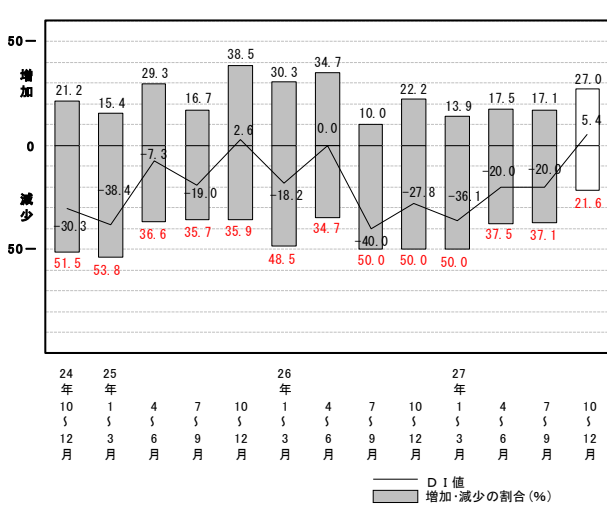
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前期比）



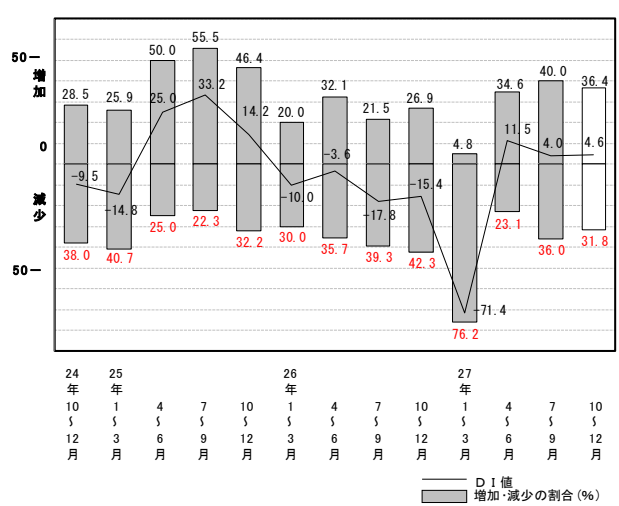
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前期比）



2. 景気の動向（自社の景気）

景気動向のD I 値は減少、来期見込も引き続き減少傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては▲5. 2となり前回（▲3. 1）より2. 1ポイント減少した。（第3図 参照）

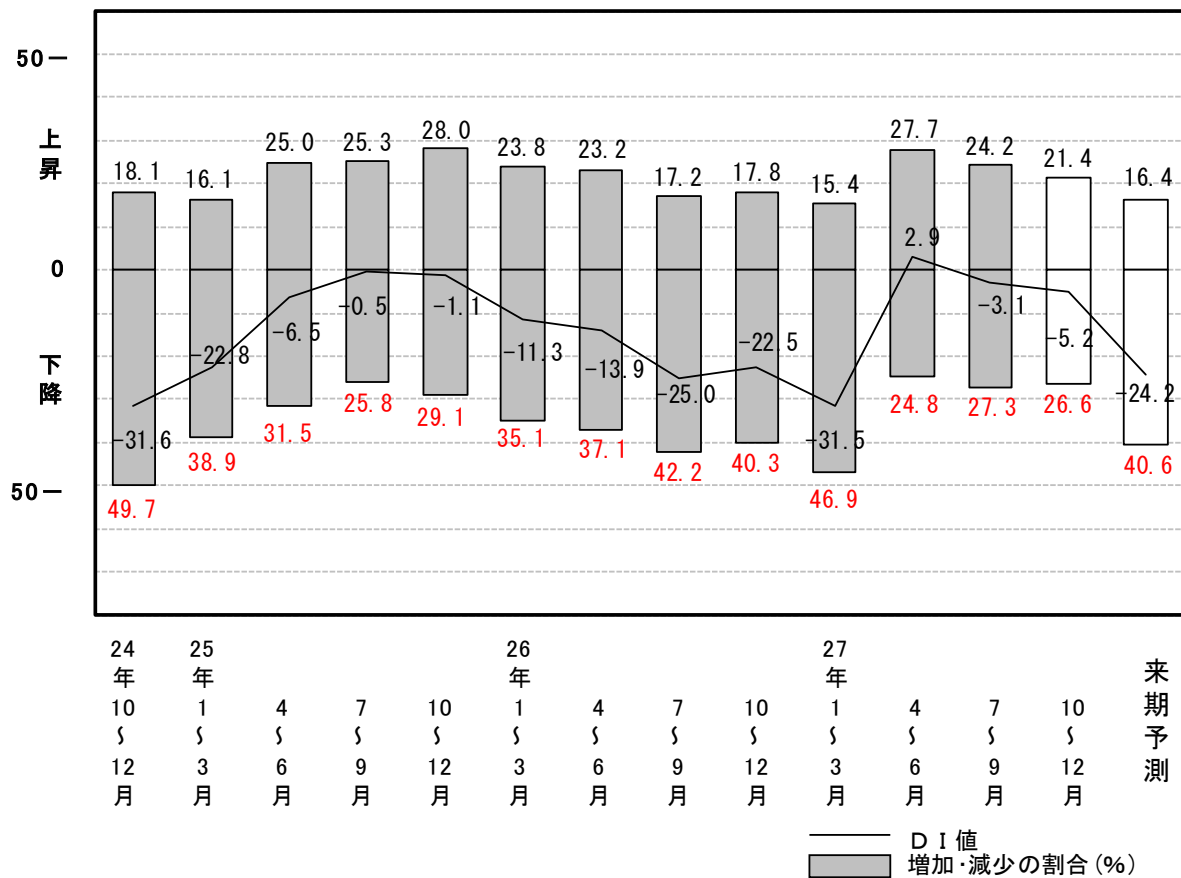
前回調査時における来期見込のD I 値は▲9. 1（6. 0ポイント減少見込）であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりは、景気が悪化しなかったと考えられる。

また、来期見込（今期比）のD I 値は▲24. 2で今期値より19. 0ポイント減少しており、今期より厳しい状況になると考えている事業所の割合が多い。

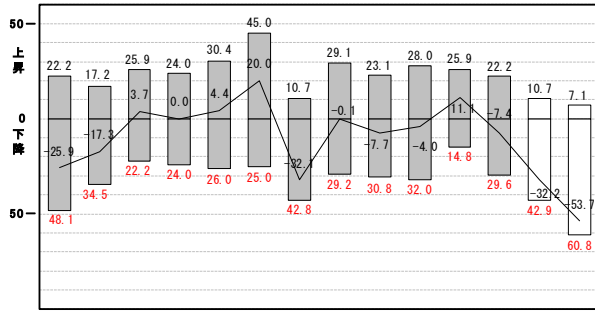
業種別のD I 値を分析すると、「製造業」「卸売・小売業」においては増加しているが、それ以外の業種においては減少している。

来期予測に関しては、すべての業種において下降すると予測している事業所の割合が多い。（参考図 景気D I 値の推移（各業種） 参照）

第3図 景気D I 値の推移（全体）



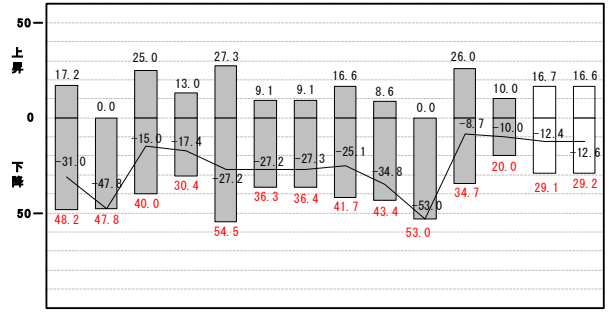
参考図 景気D I値の推移（建設・土木業）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

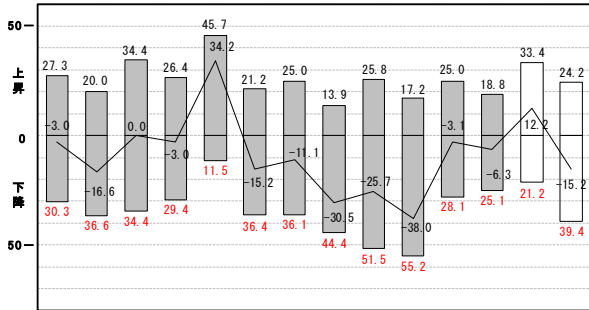
参考図 景気D I値の推移（飲食業）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

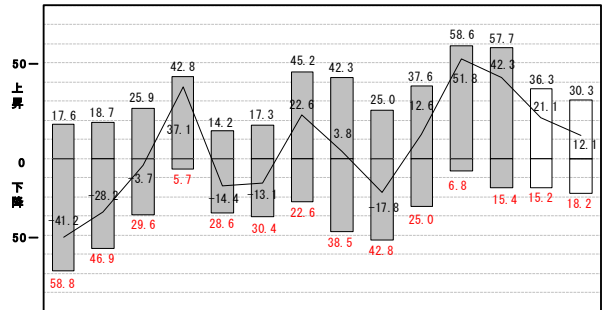
参考図 景気D I値の推移（製造業）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

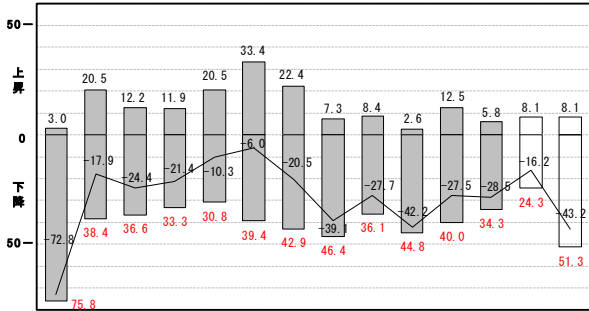
参考図 景気D I値の推移（旅館業）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

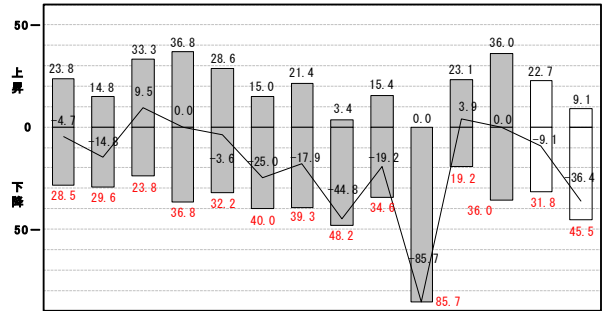
参考図 景気D I値の推移（卸売・小売業）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

参考図 景気D I値の推移（その他）



24	25	26	27	来
年	年	年	年	期
10	4	1	4	予
5	5	5	5	測
12	6	3	3	
月	月	月	月	

D I値
増加・減少の割合(%)

3. 雇用の状況

雇用状況は「過剰感」「不足感」とも増加

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は8.6%で、前回(7.4%)より1.2ポイント増加した。

また、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は29.3%で前回(29.0%)より0.3ポイント増加した。

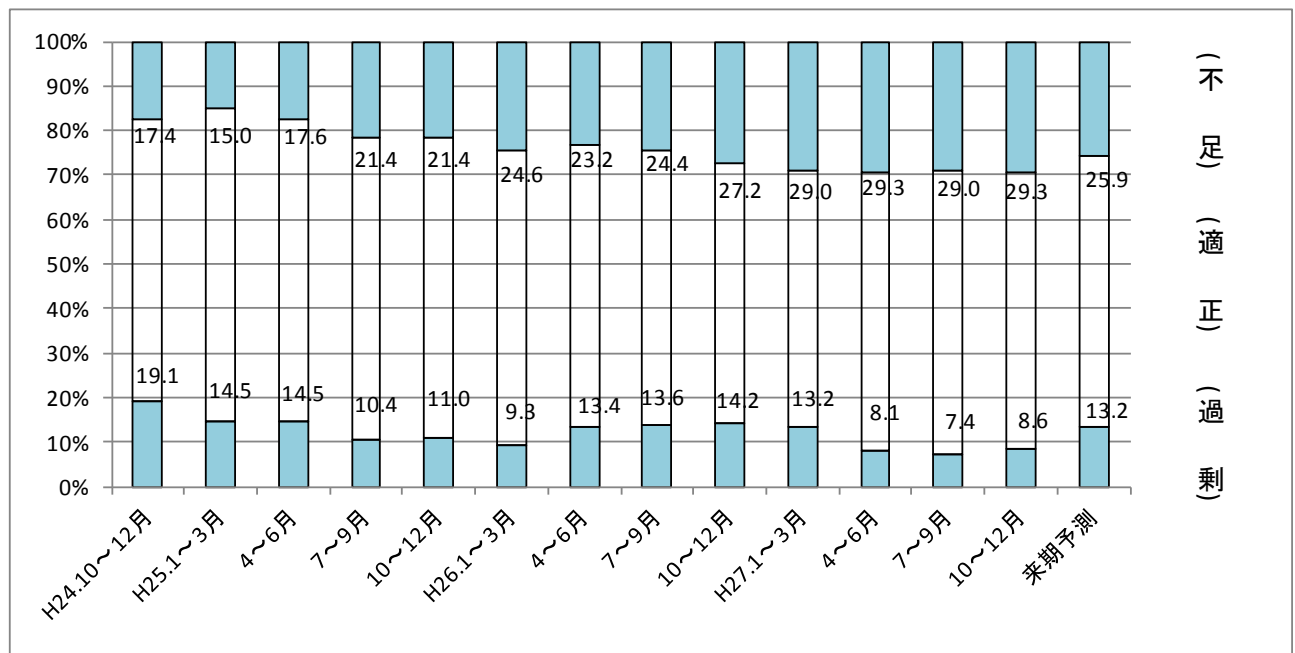
来期予測に関しては、「過剰」が13.2%で今期より4.6ポイント増加し、「不足」が25.9%で今期より3.4ポイント減少している。(第4図 参照)

業種別の数値を分析すると、「建設・土木業」「製造業」「飲食業」においては「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、一方、「建設・土木業」「卸売・小売業」「その他」の業種においては「不足」と回答している事業所の割合が増加している。

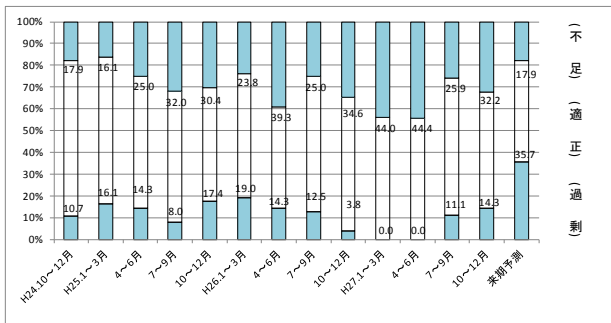
来期予測に関しては、「建設・土木業」「卸売・小売業」「旅館業」において「過剰」と予測する事業所の割合が増加し、「製造業」「その他」においては、「不足」と予測する事業所の割合が増加している。

(参考図 雇用の状況の推移(各業種) 参照)

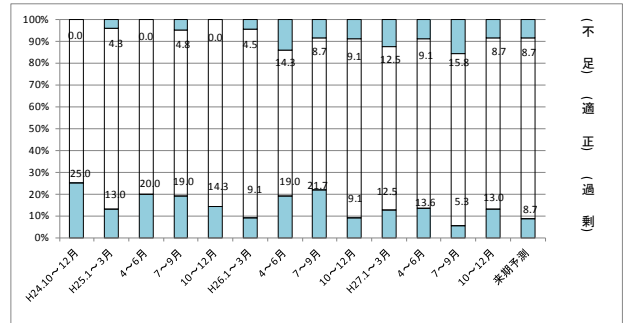
第4図 雇用の状況の推移(全体)



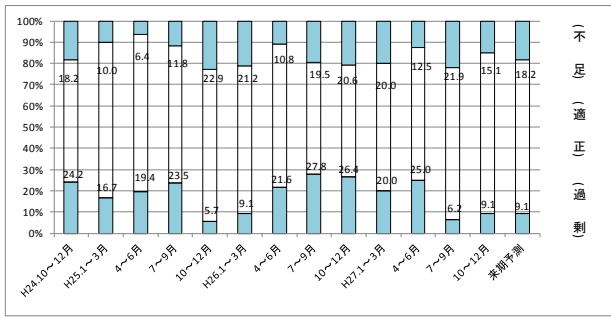
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



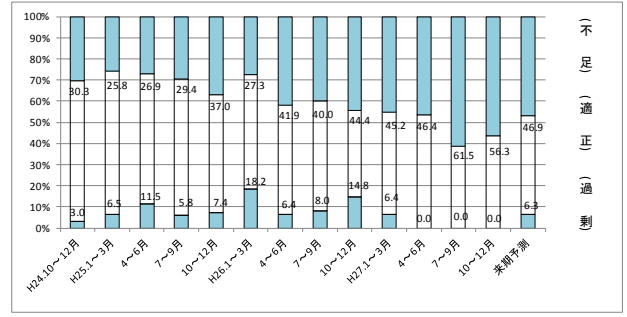
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



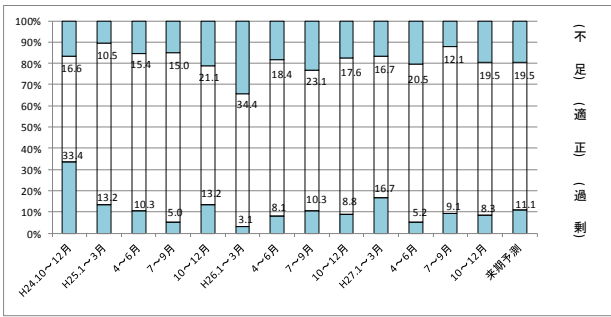
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



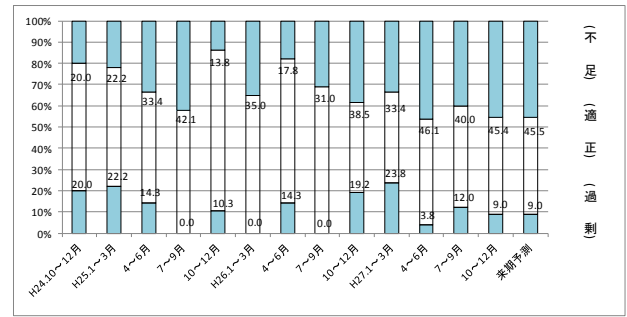
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



4. 設備投資

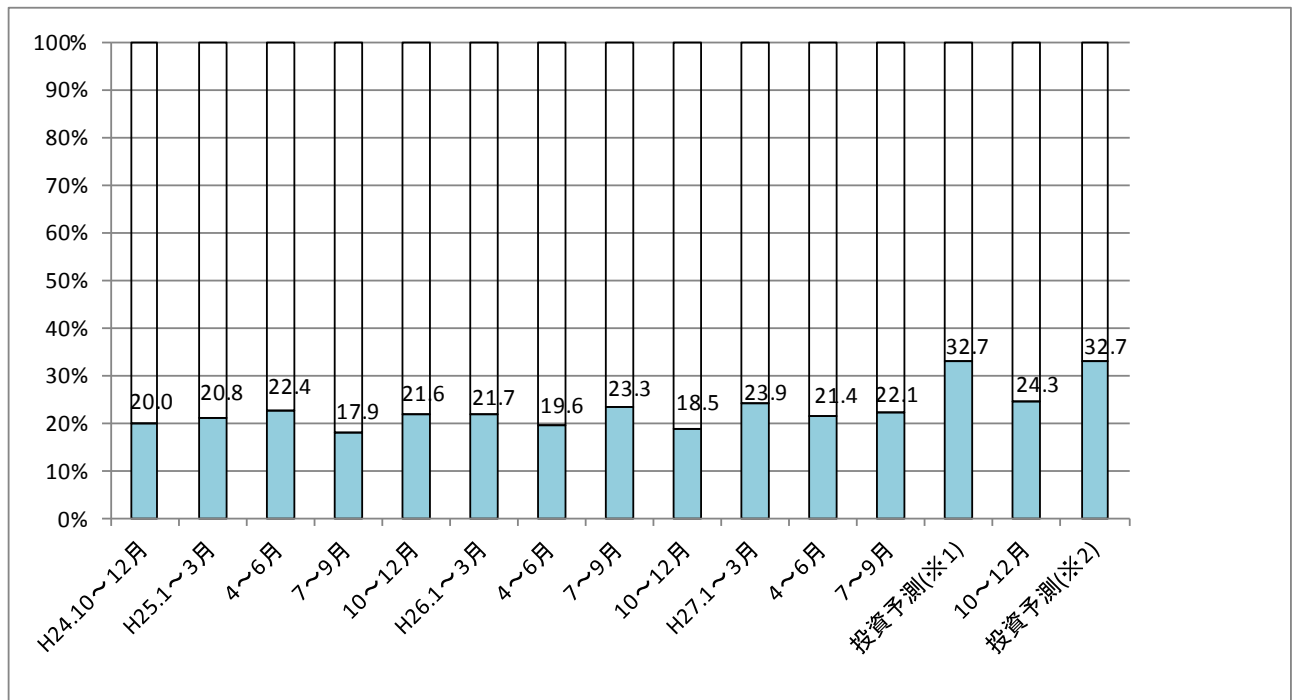
設備投資を行った事業所は増加
来期以降の設備投資計画も増加傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は24.3%で、前回（22.1%）より2.2ポイント増加した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は32.7%となっており、前回調査時の予測値（32.7%）と同じ割合であった。

業種別にみると、「建設・土木業」においては、今期の設備投資実績が前回調査の予測値を上回っており、それ以外の業種はすべて前回調査の予測値を下回っている。また、向こう1年の投資計画は、「旅館業」「その他」の業種において前回調査の予測値を上回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



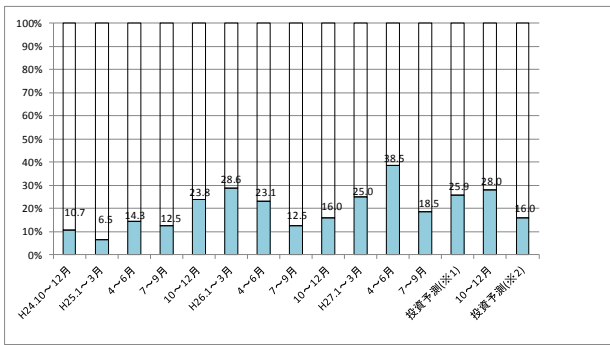
投資予測※1

前回調査（7～9月期）における向こう1年間の投資計画

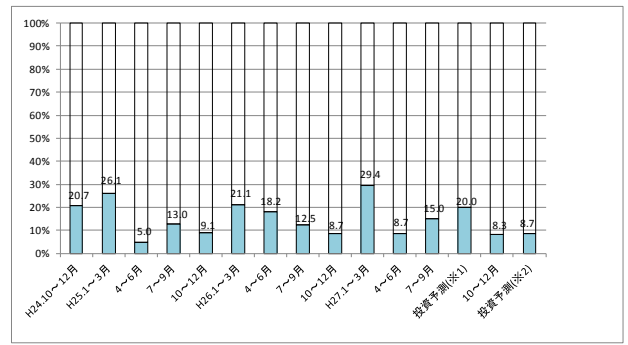
投資予測※2

今回調査（10～12月期）における向こう1年間の投資計画

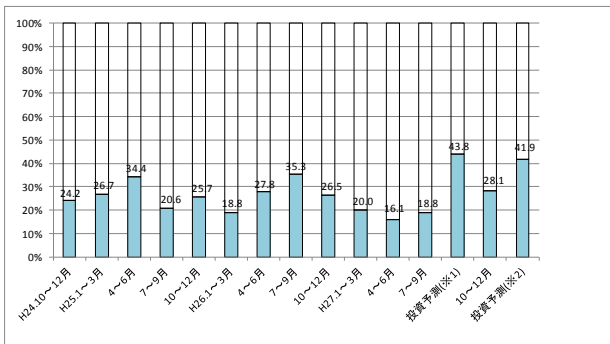
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



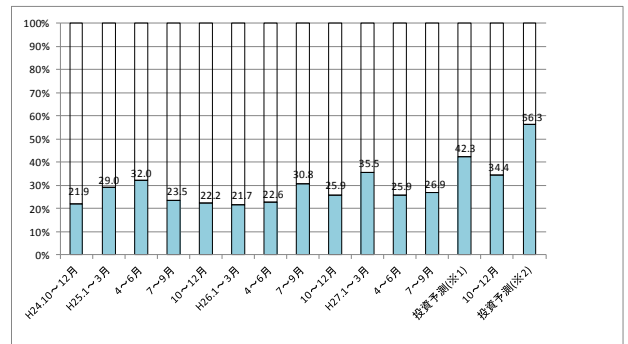
参考図 設備投資の推移(飲食業)



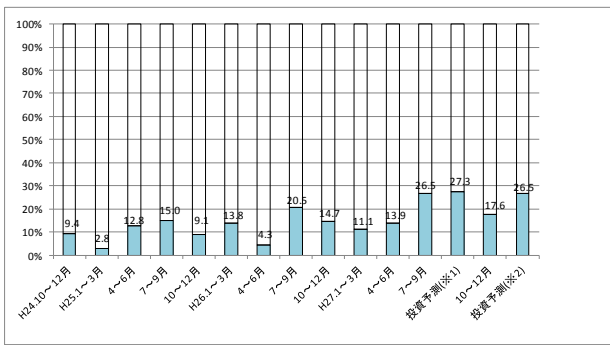
参考図 設備投資の推移(製造業)



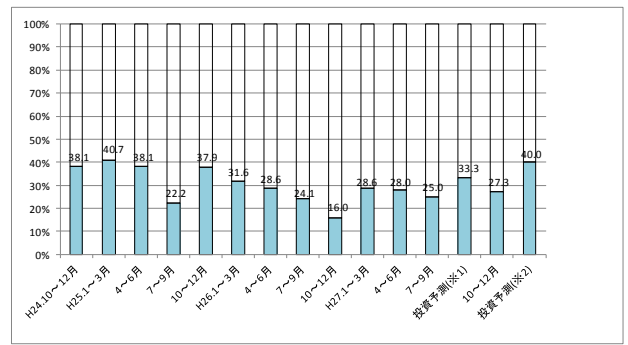
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

平成27年 10月～12月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産業全体	建設土木	製造	卸・小売	飲食	旅館	その他
販売高	(今期)	10%以上増加	11.5	10.7	9.1	5.4	4.5	28.1	9.1
	前年同期と比べて	3%以上10%未満増加	30.5	28.6	33.3	18.9	27.3	46.9	27.3
		横ばい	35.0	35.7	33.4	40.6	36.4	18.8	50.0
		3%以上10%未満減少	16.7	25.0	12.1	21.6	27.3	3.1	13.6
出荷額	(今期)	10%以上増加	6.3	0.0	12.1	13.5	4.5	3.1	0.0
	前期と比べて	3%以上10%未満増加	5.2	3.6	9.1	2.7	4.5	9.4	0.0
		横ばい	28.2	28.6	33.3	24.3	13.6	31.3	36.4
		3%以上10%未満減少	41.9	35.7	39.4	51.4	63.8	31.1	31.8
工事高	(今期)	10%以上増加	19.0	21.4	18.2	10.8	13.6	21.9	31.8
	前期と比べて	3%以上10%未満増加	5.7	10.7	0.0	10.8	4.5	6.3	0.0
		横ばい	28.2	28.6	33.3	24.3	13.6	31.3	36.4
		3%以上10%未満減少	41.9	35.7	39.4	51.4	63.8	31.1	31.8
自社の景気	(今期)	10%以上増加	19.0	21.4	18.2	10.8	13.6	21.9	31.8
	前期と比べて	3%以上10%未満増加	5.7	10.7	0.0	10.8	4.5	6.3	0.0
		横ばい	28.2	28.6	33.3	24.3	13.6	31.3	36.4
		3%以上10%未満減少	41.9	35.7	39.4	51.4	63.8	31.1	31.8
自社の景気	(来期見込)	上昇した	5.6	3.6	6.1	2.7	4.2	12.1	4.5
	前期と比べて	やや上昇した	15.8	7.1	27.3	5.4	12.5	24.2	18.2
		横ばい	52.0	46.4	45.4	67.6	54.2	48.5	45.5
		やや下降した	19.8	28.6	18.2	16.2	20.8	9.1	31.8
自社の景気	(来期見込)	下降した	6.8	14.3	3.0	8.1	8.3	6.1	0.0
	今期と比べて	上昇する	2.8	0.0	0.0	0.0	8.3	9.1	0.0
		やや上昇する	13.6	7.1	24.2	8.1	8.3	21.2	9.1
		横ばい	43.0	32.1	36.4	40.6	54.2	51.5	45.4
雇用人員	(来期見込)	やや下降する	28.2	42.9	30.3	35.1	12.5	12.1	36.4
	今期と比べて	下降する	12.4	17.9	9.1	16.2	16.7	6.1	9.1
		過剰である	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
		やや過剰である	8.0	14.3	9.1	8.3	13.0	0.0	4.5
雇用人員	(今期)	適正である	62.1	53.5	75.8	72.2	78.3	43.7	45.6
	今期水準	やや不足している	24.1	28.6	12.1	13.9	8.7	43.8	40.9
		不足している	5.2	3.6	3.0	5.6	0.0	12.5	4.5
		(来期予想)	過剰となる	1.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
雇用人員	(来期予想)	やや過剰となる	12.1	32.1	9.1	11.1	8.7	6.3	4.5
	来期水準	適正である	60.9	46.4	72.7	69.4	82.6	46.8	45.5
		やや不足する	20.7	17.9	15.2	13.9	8.7	34.4	36.4
		不足する	5.2	0.0	3.0	5.6	0.0	12.5	9.1
設備投資	(今期)	設備投資した	24.3	28.0	28.1	17.6	8.3	34.4	27.3
	今期実績	設備投資していない	75.7	72.0	71.9	82.4	91.7	65.6	72.7
		(来期以降)	〃を計画している	32.7	16.0	41.9	26.5	8.7	56.3
資金繰り	(来期以降)	〃を計画していない	67.3	84.0	58.1	73.5	91.3	43.7	60.0
	前年同期と比べて	楽になった	5.3	8.0	6.3	5.6	4.3	6.3	0.0
		やや楽になった	11.8	16.0	6.3	8.3	4.3	21.9	13.6
		横ばい	63.5	56.0	68.7	58.3	65.4	65.5	68.2
やや苦しくなった		14.7	8.0	15.6	25.0	21.7	0.0	18.2	
資金繰り	(今期)	苦しくなった	4.7	12.0	3.1	2.8	4.3	6.3	0.0
	前期と比べて	楽になった	2.9	0.0	6.3	2.8	4.3	3.1	0.0
		やや楽になった	11.2	12.0	6.3	8.3	0.0	21.9	18.2
		横ばい	66.5	60.0	71.8	61.1	65.3	65.6	77.3
やや苦しくなった		15.3	20.0	12.5	25.0	26.1	3.1	4.5	
原材料購入	(今期)	苦しくなった	4.1	8.0	3.1	2.8	4.3	6.3	0.0
	前年同期と比べて	上昇した	7.7	4.0	9.4	5.7	13.0	9.4	4.8
		やや上昇した	39.9	36.0	46.9	25.7	43.5	68.8	9.5
		横ばい	42.3	52.0	43.7	51.4	30.5	21.8	57.1
やや低下した		8.9	8.0	0.0	14.3	13.0	0.0	23.8	
購入価格、仕入価格等	(今期)	低下した	1.2	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	4.8
	前期と比べて	上昇した	6.5	0.0	6.3	5.7	8.7	12.5	4.8
		やや上昇した	33.9	24.0	34.4	28.6	39.1	56.3	14.3
		横ばい	51.3	68.0	59.3	51.4	39.2	31.2	61.9
やや低下した		7.7	8.0	0.0	11.4	13.0	0.0	19.0	
購入価格、仕入価格等	(今期)	低下した	0.6	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0

【参考資料】

工業指標

(単位：件, 人, 万円)

区 分	2 1 年	2 2 年	2 4 年	2 5 年
事業所数 (指数)	232 (100)	222 (95)	210 (90)	201 (86)
従業者数 (指数)	5,321 (100)	5,347 (100)	5,439 (102)	5,504 (103)
製造品出荷額等 (指数)	10,585,570 (100)	10,355,962 (97)	11,898,399 (112)	12,042,054 (113)

(指数：平成21年=100)

工業統計

商業指標

(単位：店, 人, 万円)

区 分	1 4 年	1 6 年	1 9 年	2 4 年
商店数 (指数)	1,963 (100)	1,872 (95)	1,796 (91)	1,368 (69)
従業者数 (指数)	10,141 (100)	9,989 (98)	9,586 (94)	7,439 (73)
商品販売額 (指数)	27,352,095 (100)	24,298,245 (88)	22,692,576 (82)	18,136,677 (66)

(指数：平成14年=100)

商業統計、平成24年経済センサスー活動調査

月別観光入込数(高山市全域)

(単位：人)

	観 光 入 込 数			
	2 6 年	2 5 年	2 4 年	2 3 年
1月	357,000	331,000	337,000	313,000
2月	249,000	247,000	239,000	247,000
3月	253,000	224,000	196,000	150,000
4月	404,000	389,000	361,000	261,000
5月	431,000	397,000	385,000	358,000
6月	214,000	217,000	202,000	189,000
7月	265,000	270,000	255,000	266,000
8月	438,000	475,000	464,000	436,000
9月	329,000	310,000	301,000	279,000
10月	490,000	485,000	489,000	471,000
11月	364,000	359,000	323,000	309,000
12月	231,000	241,000	217,000	202,000
累 計	4,025,000	3,945,000	3,769,000	3,481,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	27年	26年
1月	1.10	0.92
2月	1.07	0.91
3月	1.11	0.94
4月	1.14	0.99
5月	1.25	0.99
6月	1.30	1.12
7月	1.39	1.19
8月	1.48	1.30
9月	1.56	1.24
10月	1.52	1.19
11月	1.46	1.12
12月	1.32	1.09

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	27年	26年
1月	178,000	171,000
2月	172,000	153,000
3月	181,000	165,000
4月	401,000	386,000
5月	464,000	426,000
6月	169,000	157,000
7月	168,000	145,000
8月	313,000	287,000
9月	245,000	215,000
10月	543,000	449,000
11月	375,000	361,000
12月	253,000	208,000
累計	3,462,000	3,123,000

観光課資料